

生体調節研究所

最先端生命科学セミナー

担当学部等 生体調節研究所
担当学科等 代謝シグナル解析分野 他
担当者 原 太一 准教授

◎事業概要

本事業では、前橋女子高等学校の生徒8名、高崎女子高校の生徒7名、桐生高校の生徒2名の計17名の理科に興味を持つ女子生徒を当研究所に招き、研究所の講師陣による最先端の生命科学に関する講義と研究施設・実験現場の見学を実施するものである。

また、「研究者になるための道のり」に関する解説や、当研究所の女性研究者による高校生へのキャリアパスのアドバイス講演を行う。

さらに、生命科学や医学研究に関する様々な疑問への質疑応答を行うものである。

なお、本事業は、研究所中期目標・中期計画にも記載されている。

◎実施事業等

平成27年度 最先端生命科学セミナーは、平成28年3月19日(土)午後2時より午後5時30分頃まで、以下のプログラムで開催をした。

- ・進行: 佐々木努 准教授
- ・所長挨拶(泉哲郎 教授)
- ・セミナー1「ホルモンとは何か？」(演者: 小林雅樹 助教)
- ・施設見学会1「ホルモンを分泌する細胞を観察する」(担当: 橋本博美 助手、菊池司 博士研究員)
- ・施設見学会2「ホルモンの作用を調べる」(小林雅樹 助教)
- ・セミナー2「研究者への道のりと、研究の苦楽」(演者: 佐々木努 准教授、橋本博美 助手)
- ・質疑応答・アンケート記入
- ・前橋女子高校生代表挨拶
- ・副所長挨拶(徳永文稔 教授)

イベントに参加した生徒は非常に熱心で、セミナー、施設見学共に好評であった。

(参考資料として、イベントプログラムと当日の写真を添付します)

◎期待される成果

前橋女子高等学校は平成25年度文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定校としての指定を受けている。桐生高校も平成19～23年度、平成24年度から5年間のSSH指定校となっている。高崎女子高校もSSH指定校としての実績がある。このような理数系教育に力を注ぐ高校が一堂に会することで、理科教育の向上に相乗的な効果が期待される。また、当研究所の教科書には記載されていないような最先端の生命科学研究を体験することで、科学のおもしろさと理数系教育の本質的な重要性を考える機会を提供できる。そして、将来の科学技術の発展を担う人材の育成に貢献したいと考える。実際、このような取り組みに対するニーズは大きく、地域社会に対する貢献度も高い。よって、今後も同様のイベントを継続していく予定である。